

広報

ひの 7

2007
No. 642

もちもちくるりん。

■初夏の味に挑戦

6月14日、ひのっこ保育所の園児らがちまきづくりに挑戦しました。町食生活改善推進委員の皆さんの指導を受けながら楽しくつくりました。出来上がったちまきはおやつの時間にみんなで食べました。

地域の宝、子どもたちを守る

舟場自治会防災部が
「地域安全安心ステーション」の
モデル事業実施地区に
選ばれました



元気に登校する子どもたちを後ろから見守る松田毅さん（写真左奥）

地域を拠点とした
防犯活動が認められる

県警が行う、平成19年度「地域安全安心ステーション」モデル事業実施地区に舟場自治会防災部（稲田治部長）が選ばれ、6月22日、防犯パトロール用品授与式と防犯研修会が、舟場コミュニティセンターで開かれました。

地域安全安心ステーションモデル事業とは、地域の自主的な防犯活動の活性化のため、地域を活動拠点にしている防犯ボランティア団体をモデル団体に指定し、防犯パトロール用品などを無償で貸し出すというもの。舟場自治会防災部は、今年度全国で指定された100団体のうちのひとつです。

授与式では、黒坂警察署の高力弘署長から、パトロール用ジャケット、防犯ブザー、旗などの品が授与されました。また、防犯研修会では黒坂警察署生活安全刑事課長、田口勝美さんによる講演が行わ



授与された品は15種類。防犯パトロールなどに活用

れました。

田口さんは「防犯パトロールなど、常に地域の人の『目』があることで、犯罪を防ぐことはできる。また、黒坂警察署では、駐在所を廃止したぶんパトロールを強化している。不審者を見つけたときなどは警察署へ通報をお願いします」などと話し、集まった住民からは活発に質問が出るなど、地域の防犯について意識を新たにしていました。

子どもたちを見守る 防犯パトロール

舟場自治会防災部が防犯パトロールを始めたのは今年の2月。舟場地区には現在小学生9人、中学生3人が通学しており、登下校の安全を見守るのが主な目的です。

防災部のメンバーは現在32人。ほとんどが中高年の住民で、当番は特に決めず、都合のつく人が自主的にパトロールを行っているとのこと。

毎朝、登校する子どもたちを見守っている舟場自治会長の松田毅さんは、「家から近いこともあり、舟場橋の東屋付近に立って、通学する子どもたちを見守っています。子どもたちははじめは大人し



研修会に集まった舟場自治会防災部のメンバー

かったです。今では元気にあいさつしてくれるようになりました」と話します。

また、「立ち始めたころは、たばこの吸い殻やごみが散乱してひどい環境でした。子どもたちに見せまいとごみ拾いや草取りをしたところ、最近はおみの量も減ってきたようです。また、子どもたちも手伝ってくれています」とも。防犯活動が環境美化にも役立っているようです。

子どもたちの 笑顔を守りたい

なるし、いろんなことを話したりもします」と話し、喜んでる様子でした。

活動を知ってもらい防犯の輪をまちに広げたい

そんな中、平成18年に結成され全町で防犯パトロールを行っている町地域防犯・生活安全パトロール協議会（山本武史会長）からのすすめもあ

大人に見守られるのびのび育つ子どもたち

根雨小学校へ通学する9人の児童は、毎朝舟場橋の東屋に集合、集団登校しています。子どもたちは東屋に着くと松田さんに「おはようございます」とあいさつし、友達がやってくるのを待ちます。子どもたちは「毎朝おじさんたちが立っていてくれてうれし。温かくて楽しい気持ちに



り、「地域安全安心ステーション」モデル事業実施地区の候補に名乗りをあげ、黒坂警察署の協力を得て警察庁に申請、今回の指定となりました。

防災部長の稲田治さんは、「モデル地区に指定され、たくさん防犯用品を貸与いただいたので有効に使いたい。また、防犯についての研修会や、子供向けの防犯教室も計画しています」と話します。

地域が一つになって 犯罪が起こりにくい環境を

黒坂警察署生活安全刑事課長の田口勝美さんに、地域の防犯のポイントなどについて話を聞きました。

犯罪者が最も恐れるのは、誰かに見られたり声をかけられたりすること。地域が一つになってパトロールや声かけをすることで犯罪が起こりにくい環境をつくることができます。もちろん家の鍵をかけるのも犯罪への抵抗になります。隣近所で声をかけあったり、あいさつを習慣付けて、地域がまとまってほしいと思いますね。



防災研修会で話す田口課長

黒坂署管内での犯罪発生件数は減少傾向にあります。原因はさまざまだと思いますが、防犯ボランティアの皆さんの力もあると思います。舟場自治会防災部の皆さんには、無理をしないで長続きする地道な活動をお願いしたいです。

また、これからのことについては、「とにかく無理をせず、できることから地道に活動を続けていきたいです。隣近所で防犯意識を高めていくことが集落の活性化につながる。この活動の輪が少しずつでも町内に広がっていけばいいと思います」と、防犯活動への思いを語りました。

一人ではできないことでも、地域ぐるみで取り組めば大きな力になる。舟場自治会防災部の取り組みは、子どもたちを犯罪から守るだけでなく、地域そのものがひとつになる大きなきっかけにもなっているのではないだろうか。

あげ・こげ・じげじまん

第1回 漆原集落（福長）に伝わるもの・こと



まさに地域の「生き字引」の生田さん

まちのそれぞれの地域に伝わる伝承や史跡などを、地域の皆さんに聞く新コーナー「あげ・こげ・じげじまん」。
第1回目は、生田美枝さん（福長）に、漆原集落のじげじまんを聞いてみました。

生田さんは、94歳の今も漆原の自宅で元気に暮らしておられます。生まれも育ちも漆原という生田さんに、昔のこ

とを話していただきました。
漆原には、「定墓」というものがあると聞きましたが、集落の下の上の丘にありませんよ。このあたりでは「五輪

さん」と呼ばれています。昔、尼子の落武者らしき人がこの土の中に入り、亡くなるまで念仏を唱えていたといわれています。この定墓には穴が開いていて、そこから念仏の声が聞こえたり、香の煙が出ていたそうですが、やがてそれも途絶えたので亡くなったことが分かったそうです。

す。私がお参りするところは、五輪さんにお参りするといぼが治るといわれていて、みんなお参りしていましたね。今でもお盆には周りをきれいに掃除して管理を続けています。



定墓（右）の上の石を取るとこぶし大の穴が（左）

「辻堂」で「観音さんごもり」をしているとか

辻堂には観音様が祀っています。今でも毎月17日には地域の人がお参りを続けていますよ。特に、7月の17日は「観音さんごもり」といって料理を持ち寄りたりお経を唱



集落のはずれにある大嫁地蔵

えたりしています。地域の交流にもなっているんじゃないでしょうか。

昔は、正月の4日に一番先にここにお参りすると縁起がいいというので、12時を境に先を競ってお参りしたものです。また、当時は正月の三日は男性が早起きをして食事を作る風習もありましたね。ただ、実際はたいぎがたり、「あれはどこだ」などと言われて、結局女性は寝ていられたかったものです。

漆原と諏訪の間にある「大嫁地蔵」について教えてください。

あのお地蔵さんは、村で結婚式があるときに、村の若者たちが地蔵を担いで行き、その家の前に置いて祝ったんだそうです。逆に、村の中でよくないことをした人の家前にも置かれたんだとか。また、昔は大師講団子という団子を作って、お参りをす

るときに自分が良くなりた部分があれば、お地蔵さんのその部分に団子を塗りつけたりということもしていました。今ではそんな風習も残っていませんが、今でも願いをこめてお地蔵さんに手を合わせると、心が楽になるような気持ちになりますね。

手芸が趣味という生田さん。布のわらじやガマで編んだかごなどを毎日作っているそうです。それが長生きの秘訣かもしれませんね。生田さん、貴重なお話をありがとうございました。



色とりどりのわらじを趣味で

「じげじまん」を聞かせてください... 町教育委員会では、地域に伝わる伝承や風習、史跡、昔話、田植え唄などを話していただける人を募集しています。

詳しくは町文化センター（電話 77 - 1300）までお問合せください

34年間守りつづけた技術と伝統 山陰でただ一人のコア職人

中村庸一さん（三谷）に県林業技術賞優秀賞



二人三脚でコアを作りつづけている妻の皓子さん（左）と

優れた木材加工技術を持つ人などを表彰する、県林業技術協会主催の平成18年度県林業技術賞の優秀賞に、コア職人の中村庸一さん（三谷）が選ばれ、6月28日、日野総合事務所による伝達式が、中村さんの自宅で行われました。

コアとは、瓦の下に敷く薄い木の板のこと。家の湿気を吸うことから、「屋根を100年もたせる」と言われています。中村さんは昭和48年から高尾の作業所でコアを作りつづけており、現在、山陰唯一のコア職人です。

今回の受賞について中村さんは、「長年コアを作りつづけて、このような賞をもらえるとは思っていませんでしたが、受賞は本当にうれしい。自分が研究を重ねてきた技術が評価されたんだと思います」と話しました。また、「材料は地元産のヒノキなどを使い、機械を使って厚さ約2ミリの薄い板に加工します。その微妙な調整は、機械を使う手と足の感覚でわかるようになりました。外材などが増えるので、コアの注文の数も減っていますが、変わらず注文してくれる人もあります。ぜひコアを使いたいという声は本当にありがたいです」とも。

今後のことについては、「後継者がいないことが一番の問題。口コミでも人気があるそうなので、自分の健康維持のためにもできるだけ注文に応じていきたい」と話します。口ぶりはまさに職人。これからもその心意気で、縁の下ならぬ屋根の下での力持ち、コアを作りつづけてほしいですね。

谷口優佳子さんに表彰状 県教育長表彰

ソフトテニスの全国大会で活躍したとして、日野中学校3年生の谷口



谷本和賀雄校長から表彰状が贈られる

優佳子さんが県教育長表彰を受賞し、7月6日、日野中学校で伝達式が開かれました。

谷口さんは、3月に三重県で開かれた第18回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会に県代表として出場、女子団体戦の部で見事第3位になったことが評価されたものです。谷口さんは、「こんなにすごい賞をもらえるとは思っていませんでした。7月7日・8日に香川県で開かれる尽誠杯では、団体・個人ともに優勝を目指します」と話しました。

白球を追って栄光をつかめ

全日本小学生ソフトテニス選手権大会に出場

8月2日～5日、群馬県前橋市で開かれる「第24回全日本小学生ソフトテニス選手権大会」に、町内の小学生4人が鳥取県代表として出場します。



小谷真由さん（根雨小5年、写真左）
「春の大会では32位。それ以上を目指したい」
西村渚さん（黒坂小5年、写真右）
「お姉ちゃんを目標に最後まで頑張りたい」



坂本菜梨乃さん（黒坂小6年、写真左）
「悪いところを直して、ポレーを多く決めたい」
木村理沙さん（黒坂小6年、写真右）
「全国大会は6回目。去年よりも多く勝ちたい」



旧根雨公会堂（町歴史民俗資料館） を描いた油絵をまちに寄贈

7月10日、松田泰彦さん（根雨）が旧根雨公会堂を描いた油絵を、まちに寄贈いただきました。

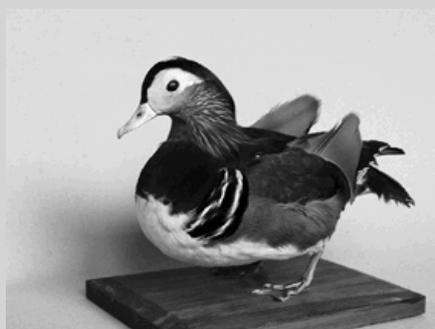


景山町長と遠藤さん（写真右）

これは、遠藤基一さん（根雨）が松田さんから譲り受けていた作品を寄贈いただいたもので、「とつとり県政だより7月号」の表紙にもなっています。庁舎内に展示していますので、どうぞご覧ください。

オシドリのはく製を寄贈

まちのシンボルであるオシドリを多くの人に見てもらいたいと、静岡県の栗田和加子さんから、オシドリのはく製を寄贈いただきました。



保存状態も良いオスのはく製

これは、栗田さん宅に60年以上前から飾られていたもので、オシドリグループ事務局の森田順子さん（根雨）を通じて寄贈いただきました。このはく製は庁舎ロビーに展示しています。

8月の基本健診、がん検診の日程は次のとおりです。受診される方は、配布した受診票を持参のうえ受診してください。

実施日	会場	受付時間	対象地区
8月8日（水）	山村開発センター	胃がん・大腸がん検診 = 午前8時～午前9時 基本健診・肺がん検診 = 午前8時30分～午前9時30分	根雨3区、後谷、金持、上本郷、下本郷
8月9日（木）	山村開発センター	胃がん・大腸がん検診 = 午前8時～午前9時 基本健診・肺がん検診 = 午前8時30分～午前9時30分	根雨4区、安原、下榎1区・2区

問合せ 役場健康福祉課 担当 伊田（電話 72 - 0334）

8月の基本健康診査、 肺がん・胃がん・ 大腸がん検診

不法投棄、 町内でも検挙

ごみをルールに従わず山林などに捨てる不法投棄の事例が、いまだ後を絶ちません。今年度に入り、町内でも2件が検挙されています。

不法投棄は、懲役もしくは罰金が課せられる犯罪行為です。また、ごみを屋外で燃やす「野焼き」も禁止されています。ごみは必ず決められたルールに従って処分してください。

不法投棄を見つけたら、黒坂警察署（電話74 0110）または役場産業振興課（電話72 2101）まで通報してください。



町道から下の河原に投げ捨てられ、散乱したごみ

推薦委員 4 人が決定 ~ 町農業委員会 ~

町農業委員会では、町議会、農業協同組合、伯耆農業共済組合から農業委員の推薦を受け、新たに4人の委員が決まりました。町農業委員は、5月に行われた農業委員選挙の当選者7人(6月号で紹介)と合わせ、計11人となりました。

今回は、推薦された委員の皆さんを紹介します。

推薦委員の皆さん
(50音順、敬称略)〔任期〕平成19年6月19日～平成22年6月18日



恩田 記子

(下菅、議会推薦)



柴田 喜博

(秋縄、農協推薦)



長谷川百子

(三土、議会推薦)



若林 朗

(金持、共済推薦)

教育委員会からのお知らせ 平成19年第7回町教育委員会開催

7月2日、第7回の町教育委員会を開き、次の議案について審議、承認されました。

議案 児童の就学の承認について

2学期から、根雨小学校の2年生に2人の児童が転入することになりました。入るにぎやかになります。よろしくお願いします。

以上の議案のほか、これから行われる行事などについての意見交換をしました。

第30回中国山地日野 鵜の池マラソン大会について

7月29日(日)、鵜の池湖畔コースで、鵜の池マラソン大会を開きます。第30回の記念大会となる今回は、スペシャルゲストとして、マラソンランナーの千葉真子さんを迎え、参加者と一緒に走っていただきます。参加申込みは締め切りですが、当日参加できるクラスもありますので、詳しく



湖畔の風を感じながら走りましょう

は、教育委員会内 大会実行委員会事務局(電話722107)までお問合せください。

また、当日はまちの皆さんをはじめ、学校や県職員などの皆さんにスタッフとしてご協力いただくことにしていますので、よろしくお願いします。

生活体験合宿について
7月31日(火)から、8月3日(金)にかけて、町内の小学生を対象に「生活体験合宿」を行うことになりました。

これは、子どもたちに学校や家庭ではできない体験学習をすることを通して、自分たちで協力しあって生活したり、生きる力を育てようとするものです。

生活体験合宿は、町公民館に3泊4日で寝泊りし、たたらについての学習や、竹を使ったおもちゃづくりなどを行います。

青少年育成会夜間街頭パトロールについて

町青少年育成会(柴原保明会長)では、子どもたちの健全育成のため、関係者の皆さんにご協力いただき、夏休み期間中の毎週火曜日と金曜日に夜間街頭パトロールを行います。
夏は、気分が開放的になり、夜間の非行や犯罪が起こりやすい時期です。皆さんも、子どもたちの安全を見守っていただきますようお願いいたします。

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題を
お寄せください。
☆役場総務企画課まで（電話72-0331）

絆が深まる運動会

舟場地区運動会



雨降りもなんのその、大いに盛り上がる

まちの文化の饗宴

第4回町文化展

町内の文化団体による作品が一堂に展示される、町文化団体連絡協議会（植木正枝会長）主催の第4回町文化展が、6月10日から12日までの3日間、山村開発センターで開かれました。

今回は、書道、写真、ちぎり絵、陶芸などの9団体と、石こけし、絵画の賛助出品合わせて11団体による力作がそろい、来場者は一点一点ゆっくりと眺めていました。

また、初日には日野国際交流協会によるお茶のサーブスもあり、来場者にひとときの憩いを提供しました。



出来栄えに感心しながら観賞

甘ずっぱい香り独り占め

セルサル久住さくらんぼ狩り



たくさんあって迷っちゃう

実ったさくらんぼを多くの人に味わってもらいたいと、6月15日、久住にあるさくらんぼ園「セルサル久住」でさくらんぼ狩りが行われました。

この日は、町内保育所の年長児や、福祉施設の入所者らが招待されました。約0.5畝の園内には150本のさくらんぼの木が栽培されており、参加者らは、その赤く実ったさくらんぼを収穫、試食していました。

さくらんぼ園経営者の稲田克忠さん（高尾）は、「実の付き方は十分ではありませんが、子どもや高齢者の方に味わっていただきたくてご招待しました。皆さんが喜んでくださることが一番の楽しみです。訪れる皆さんの声を聞きながら今後どういう運営をしていけばいいか考えていきたい」と話していました。

地域総出で清掃作業

カワコふれあい公園 斉清掃

カワコふれあい公園（黒坂）を地域住民の手で美しくしようと、黒坂地区連合区会（和田佳洋会長）、公園管理委員会（恩田孝雄委員長）主催の斉清掃作業が、6月17日に行われました。

朝から行われた作業には、地元住民を中心に約100人が参加。公園内のスポーツ広場の草取り・草刈り作業や、水路の泥上げ作業などを約2時間かけて行いました。



広い公園も大勢で作業すればあっという間

地区住民の親ぼくを深めようと、第30回の舟場地区の運動会が、6月10日、舟場コミュニティセンターで開かれ、舟場の住民約60人が参加しました。

当日は雨天のため室内での開催となりましたが、参加者は4つの自治班に分かれ、ボーリング競争や風船割り、花吹雪などの競技に汗を流しました。

また、終了後の懇親会では、日ごろの労をねぎらい、住民同士交流を深めていました。



道なき道を刈りながら進む

鉄を運んだ道を行く

都合谷たたら草刈り作業

かつてのたたら製鉄の跡が残る上菅の都合谷たたら跡へ続く山道の草刈り作業が、6月24日に行われました。当日は、地元上菅の住民や鳥取大学の学生ら20人が参加し、たたら跡へ続く約2^{キロ}の山道の草刈り作業に汗を流しました。

道は雑草や笹に覆われており、それらを刈り進みながらの作業でしたが、数時間で作業を終えました。

この道は、たたらで作られた鉄を運んだ道で、道沿いを流れる都合谷川には「上菅五滝」と呼ばれる五つの滝があることで知られています。



それぞれのポイントでアユを待つ



全国和牛能力共進会のマスコット、とりモーも登場

朝ごはんみんなでみんな元気に

食育月間朝食キャンペーン

食に関する知識などを育てる「食育」を進める、6月の「食育月間」にあわせ、町食生活改善推進協議会（佐々木高子会長）の推進員と県職員による朝食キャンペーンが、6月19日、町内2か所で行われました。

ひのっこ保育所では、園児を迎えにきた保護者と園児に推進員らがキャンペーンのチラシや記念品を渡しながら、「元気な体をつくるために毎日朝ごはんをしっかり食べましょう」と呼びかけていました。

鮎釣り名人勢ぞろい

鮎マスターズ2007

西日本各地からアユ釣り愛好家が集い、その腕前を競う第21回鮎マスターズ2007（ダイワ精工（株）主催）が、6月21日、町内の日野川で開かれました。

当日は、中国地方を中心とした約130人の選手が参加、釣り上げたアユの数を競いました。結果、日野町からは瀬田匡志さん（安原）が6位に入賞しました。

また、この日釣り上げられたアユは町内の福祉施設に寄付されました。

舟場Bチームが制す

島根銀行杯親善グートボール大会



優勝した舟場Bチームの皆さん

第18回島根銀行杯親善グートボール大会（島根銀行根雨支店主催）が、6月23日、日南町神戸上ふるさと日南邑で開かれ、町内のグートボール愛好者4チーム22人が参加しました。

試合は、各チーム総当りのリーグ戦が行われ、熱戦が繰り広げられました。

試合結果は次のとおりです。（敬称略）

優勝〓舟場Bチーム（川端博文、田口防史、山吹長年、三好功、荘司公男） 準優勝〓舟場Aチーム 第3位〓日野混成チーム 第4位〓黒坂チーム

広がる音楽の輪

日野川音楽祭



幕開けを飾った伯耆ジャズ倶楽部の華麗な演奏

日野川沿いで活躍する音楽グループによるコンサート、第11回日野川音楽祭が、6月24日、町文化センターで開かれました。

「音楽の輪を広げよう」をテーマに始まった音楽祭も今年で11年目。今回は、ジャズ、ポップス、大正琴、コーラスなど、全10組150人が出演し、多彩なステージを繰り広げました。また、ホワイエではフリーマーケット、バザーが行われ、多くの人でにぎわいました。

最後は、町民歌「きらりこの町」を出演者全員で大合唱し、音楽祭を華やかに締めくくりました。

県大会へ出場決まる

県西部消防ポンプ操法大会

県西部の消防団が集い、日ごろの訓練の成果を競う第49回県西部消防ポンプ操法大会（県西部消防協会主催）が、7月1日、米子市の県消防学校で開かれました。

消防ポンプを使って放水し、時間と動作の機敏さなどを競うこの大会には、ポンプ車の部に6隊、小型ポンプの部に4隊が出場、日野町からは、小型ポンプの部に第1分団から5人の選手が出場しました。

第1分団の選手らは、素早い中にも神経の行き届いた動作で見事な操法を披露しましたが、伯耆町消防団にわずかの差で敗れ2位となり、7月15日に米子市で開かれる第53回県消防ポンプ操法大会に出場することが決まりました。



卓越した技術を誇る第1分団

3日間で社会人を体験

日野中学校職業体験学習



楽しみながらも責任感を持って仕事を



働くことの意味や価値を学び、自分の将来の生き方について考える、日野中学校（谷本和賀雄校長）の職業体験学習が、6月25日から27日の3日間行われました。

今回は、日野中学校の2年生24人が、町内の役所や保育所、コンビニエンスストア、病院など12の事業所で実際の仕事を体験しながら学習しました。

黒坂保育所で学習した三島瑞季さん（黒坂）は、「保育所では、子どもたちと遊んだり、人形劇をしたり楽しかったですが、保育士の仕事は大変だと思いました。将来は人と接する仕事がしたいです」と話しました。

犯罪のない社会を呼びかけ

社会を明るくする運動

7月の「社会を明るくする運動」の強調月間に合わせ、町内の関係者らによる街頭広報活動が、7月2日に行われました。

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更正について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会をつくるための全国的な運動です。

第57回の運動となる今年は、「防ごう犯罪と非行 助けよう立ち直り」を統一スローガンに運動が展開されています。

街頭広報活動では、根雨駅の利用者に記念品を手渡ししながら明るい社会づくりを訴えかけ、その後は町内の事業所訪問などが行われました。



根雨駅では高校生を中心に呼びかける

甘い草もち召し上がれ

日赤日野町奉仕団草もちづくり



一つ一つ丁寧に包んでゆく

涙誘う感動の舞台

さん・ふいーるご公演

町内で活動している劇団、お芝居くらぶ「さん・ふいーるご」(佐野咲百合代表)の夏公演、「時空探偵 八神駿一朗」星の光が君に届くまで」が7月7日・8日の2日間、町文化センターで開かれました。

物語は、七夕をテーマに、時間をさかのぼって事件を捜査する探偵の活躍を描いたミステリー作品。出演者は、複雑な人間関係を繊細に演じ、客席の涙を誘っていました。

なお、この公演は、骨髄移植推進財団への寄付を目的としたチャリティー公演で、収益金の全額が同財団へ寄付されることになっています。

デイサービスセンター(かじか荘根雨)の利用者に季節の味を味わってもらおうと、日本赤十字日野町奉仕団(飯島好江代表)による草もちづくりが、7月2日、町老人福祉センターで行われました。

集まった11人の会員らは、笹で包んだ、あん入りの草もちを作った後、かじか荘で利用者にプレゼントし、一緒にゲームを楽しんだりと交流を深めました。

飯島代表は、「数年前から春は桜もち、夏は草もちをプレゼントしています。利用者の皆さんに喜んでいただきたいと心を込めて作りました」と話していました。



七夕を軸にした人間ドラマが繰り広げられる

4年連続総合優勝に輝く

日野郡民総合体育大会



一般男子・女子の2種目で優勝したソフトテニス

年に一度の郡民のスポーツの祭典、第62回日野郡民総合体育大会(郡体育協会主催)が、7月8日、町内を主会場に開かれました。

大会では、陸上競技をはじめ、ソフトテニス、バレーボールなど10競技が行われ、各町の代表チームが熱戦を繰り広げました。(うち、ゴルフは7日に実施、軟式野球は雨天のため中止)

結果、日野町選手団は、陸上競技をはじめ8種目で優勝、また、総合得点では4年連続で総合優勝を果たし、大健闘しました。

大会結果

総合得点〓優勝
 陸上競技〓男子：優勝、女子：優勝
 ソフトテニス〓一般男子：優勝、一般女子：優勝、壮年：第2位
 バレーボール〓一般男子：第2位、一般女子：第2位、婦人：第2位
 卓球 男女混成 〓第2位
 バドミントン 男女混成 〓優勝
 柔道〓優勝 剣道〓第2位
 ゲートボール〓男子：第3位、女子：優勝
 グラウンド・ゴルフ 〓男子：優勝、女子：第2位
 ゴルフ〓第2位

スポーツ表彰

(敬称略)

功労表彰〓赤木政男、遠藤三郎、木山孝文
 ソフトテニス〓安達仁美、石田千春、伊田浩貴、稲田光、稲田浩明、梅林尚美、遠藤奈々、音田夏子、頭本龍大、木村理沙、小谷真由、後藤夏実、坂本樹、坂本茉莉乃、杉本香織、谷口優佳子、名越廉、西村清、西村匠平、西村美咲、長谷部友紀、松原史奈、山本龍星、杠杏実、日野中学校男子ソフトテニス部(団体表彰)

テニス：瀬田梢

ラグビー：舟越恒平

おめでとございます

介護支援専門員 実務研修受講試験

試験日 10月28日(日)
試験会場 米子コンベンションセンターほか
受験対象者 介護等の業務経験が5年以上の人
試験内容 筆記試験(取得資格により解答免除あり)
申込期限 8月15日(水)
問合せ 県社会福祉協議会 福祉人材部(鳥取市伏野)
電話 0857 59 6336
申込書は役場健康福祉課にあります。

消防職員採用試験

募集職種 消防吏員3人
応募資格 昭和55年4月2日以降に生まれた人
試験日程 第1次試験(教養試験・体力試験) 9月30日(日) 第2次試験(面接試験・作文試験・健康審査・消防適性検査) 10月下旬
採用予定 平成20年4月1日
申込期間 8月27日(月)

9月11日(火) 当日消印有効
受付場所 県西部広域行政管理組合 消防局 総務課(電話 0859 35 1951)

日野高等学校同窓会を設立

旧日野産業高等学校鏡陵同窓会、旧根雨高等学校双葉同窓会、日野高等学校同窓会が合併し、新しく日野高等学校同窓会を設立することになりました。

設立同窓会

期日 8月25日(土)
会場 総会 町文化センター(午前10時)、懇談会 山村開発センター(正午)
対象 3校の同窓会員
オープニングセレモニーとして、日野高等学校郷土芸能部による荒神神楽が上演される予定です。
申込み・問合せ 日野高等学校(電話 72 0365)

航空自衛隊体験搭乗

航空自衛隊美保基地の体験搭乗の一般募集を次のとおり行います。

体験搭乗日 9月16日(日)

募集人数 220人

搭乗機種 C-1輸送機

応募要領 はがきに搭乗者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入して申し込んでください(小学生は学年も記入)。
はがき1枚につき2人まで申し込みます。

募集は小学生以上です。小学生の場合は、保護者との2人の申込みになります。

応募期限 8月20日(月)必着

搭乗者発表 応募者から抽選し、当選者には8月27日(月)に搭乗券等の発送をもってお知らせします。

応募先・問合せ 〒684 0053 境港市小篠津町2-258 航空自衛隊 美保基地 渉外室(電話 0859 45 0211)

町成人式

平成19年度

とき 8月15日(水) 午前9時00分～
ところ 町文化センター
該当者 昭和62年4月2日～昭和63年4月1日生まれの人
内容 式典【午前9時～午前10時】
記念講演【午前10時～午前11時30分】
講師：浜田珠鳳さん(指画家、根雨出身)
演題「新成人に贈ることば」

- 該当者には別途ご案内します
- 該当者で案内がなかった人のうち、出席を希望する人は、7月27日(金)までに教育委員会事務局までご連絡ください。
- 成人式・記念講演は一般の方も参加できますので、多数ご参加ください。

問合せ 町教育委員会事務局 担当 飛田(電話 72-2107)

お元気ですか

日野病院です

病院長のひとりごと

患者数について



日野病院長 榎田 豊

外来患者延数は年々減少

今回は外来患者さんについてお話しいたします。

図1は日野病院の外来患者延数の年次推移を示したものです。(外来患者延数とは、各外来診療科を受診された患者数です)平成13年度には7万4000人余りでしたが、その後は1年ごとに4000人

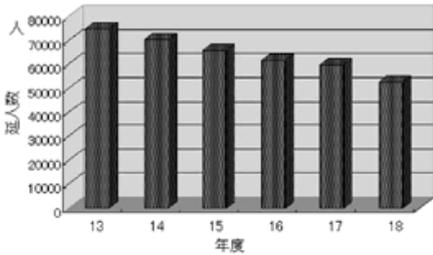


図1. 外来患者数の推移

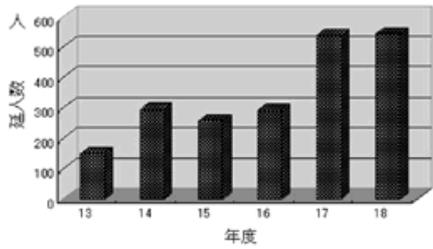


図2. 訪問診察利用者延数の推移

程度減少し、平成18年度には5万3000人弱となりました。平成18年度は平成13年度に比較すると30%近くも減少したことになります。

平成18年度の診療科ごとの外来患者延数は、心療内科を除く全ての診療科で減少しました。減少の程度は婦人科と耳鼻科で顕著でした。

内科についてみますと、全体の外来患者延数は20%程度減少していますが、訪問診察利用者延数は年々増えていきます(図2)。

医療保険制度改革も原因に

図3は厚生労働省が発表している全国の病院(診療所を含む)の1日平均外来患者数の年次推移です。毎年増加してきましたが平成12年度をピークに減少に転じています。外来患者延数の減少は、日野病院だけではなく全国の多くの病院に共通する問題と言えます。

外来患者延数が減少してきた理由を考えるうえで、外来患者実数の減少によるのか、それとも受診回数の減少によるのかを明らかにすることは重要です。そこで日野病院は1年間のレセプト枚数から月平均の外来レセプト枚数を調べてみました(注)。

図4に示しましたように、月平均外来レセプト枚数は2100枚前後で平成14年からほとんど変化していません。

日野病院の外来患者延数の減少は、主として受診回数の減少によることが分かりました。外来患者延数の減少が全国レベルの問題であることを考えれば、日野病院の場合もその主な理由は、最近の医療保険制度改革(医療費の自己負担の増額、介護保険制度の実施、薬剤の投与日数規定の原則廃止など)の影響と考え

るを得ません。

その結果として、治療中断には到っていないものの、特

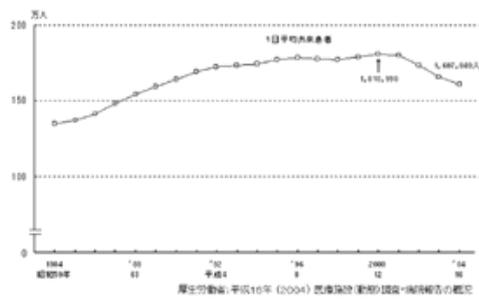


図3. 全国における外来患者数の推移

診療部門の充実のため、訪問診察体制を強化

さて、このような外来患者延数の減少に対して、日野病院としてはどのように対応すべきでしょうか。

もちろん、患者さんの受診回数を増やす努力は必要です。しかし、受診回数の減少が最近の医療保険制度に由来する可能性が高いこと、心療内科のように集客性の高い専門外来等を増設しようとしても、

昨今の事情から人材の確保が困難なことなどからそれを達成することは容易なことではありません。

現在私たちが考えている対応策は、外来患者延数の減少

に高齢の患者さんを中心に『受診控え』が起こっている可能性が考えられます。

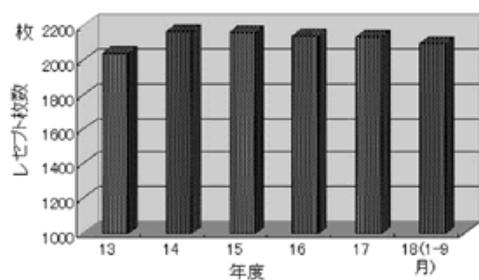


図4. 月平均外来レセプト枚数の推移

に合わせ一部的外来部門を縮小し、今後発展すべき診療部門の拡大と充実を図るといふものです。

その一環として、訪問診察利用者延数の増加に対応するため、6月から月・木・金曜日の内科午後診察を廃止し、担当医師2名により訪問診察が毎日行える体制としました。

今まで内科午後診をご利用いただいた患者さんには、定期受診日の変更などでご迷惑をお掛けしますが、日野病院やこの地域の実情をご理解のうえ、ご協力いただければ幸いです。

注「レセプトとは、病院が医療費を保険者(各自が加入している健康保険)に請求する際、患者一人に対し、受診日数にかかわらず月に1枚発行する明細書です。

日野町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1
 電話：74-0212 FAX：74-0105
 E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

暮らしの中に笑いを取り入れて 第3回おしどり学園

6月22日、第3回おしどり学園を町公民館で開きました。今回のテーマは健康づくり。「楽しいが笑顔をつくる」と題し、鳥取県西部レクリエーション協会の安田智さんが実技をまじえながら講演されました。

安田さんは、「レクリエーション活動を通じて、楽しさやふれあいを体験していただくことで、心身の健康づくり、人間性豊かな人づくり、いきいきとしたまちづくりに貢献します」と話し、「レクリエーションとは、仕事や勉強などの疲れを、休養や娯楽に



安田さん（写真中央）の指導で楽しくレクリエーション

よって精神的、肉体的に回復すること。また、そのために行う休養や娯楽のことです。「だれもが年をとると筋力が落ちるので骨折に気をつける。歯は大切で歯周病対策に歯磨きをすること。脳に刺激を与えるために、指先を使うことで脳と体が一体的になる事が必要。さらに、「笑う」ことが元気のもとになるので、日ごろから、家庭・地域・職場などでもおおいに笑うこと。また、日ごろから楽しいと思えるようにすることが大事」と話されました。学園生も簡単な実技をしながら、おおいに笑い、楽しみました。

第5回おしどり学園

患者が少しずつ増えてきている結核の原因や健康づくりについての講演を行います。講演にはおしどり学園生以外の方も参加できますのでお誘いあわせお出かけください。
 日時：8月17日（金）午前9時30分
 場所：町公民館
 内容：結核予防と健康づくり
 講師：日野保健所長 大城陽子さん
 その他：おしどり学園は途中からでも加入できます。詳しくは町公民館へ。

生活体験合宿を行います

まちでは、家から離れて自分ができること、集団の中で互いの立場や役割を理解し、子どもたちが協力し合って、より良い生活を送れる力を育てるため、生活体験合宿を行います。

日時	7月31日（火）～8月3日（金） 3泊4日
場所	町公民館
活動内容	集団宿泊活動、学習活動、交流活動
対象	町内の小学4・5・6年生の希望者
定員	25人
問合せ	町教育委員会（電話72 2107）

夏休みは町公民館へ。

小学生 ふるさと教室

町内には豊かな自然と、昔を伝える貴重な文化財や史跡が多く残っています。
 貴重な資産を自分の目で見て、身体で感じて歴史や産業について学ぶためにふるさと教室を開きます。

日時	8月23日（木） 午前8時30分～ 午後4時
場所	町公民館
学習内容	黒坂地区（鏡山城跡、泉龍寺など）
対象	町内の小学5・6年生
問合せ	町公民館 電話74 0212

子どもの「食」と健康 第2回

食育とは

生きるうえでの基本であり、
知育、徳育及び体育の基礎と
なるべきもの。様々な経験を
通じて、食に関する知識と食
を選択する力を習得し、健全
な食生活を実践することがで
きる人間を育てることとされ
ています。

近年、子どもの朝食の欠食
率は、朝食をほとんどとつて
いない児童の推移では、小学
生（5年生）で平成7年度は
2・7割だったものが平成12
年度では4・1割に増加して
います。

欠食の主な理由は「時間が
ないから」が46・9割、「食欲
がないから」が33・7割となっ
ています。（平成12年度の資
料は独立行政法人日本スポー
ツ振興センター「児童生徒の
食生活等実態調査より」）

食をめぐる現状は、肥満
や生活習慣病の増加、栄養バ
ランスの偏った食事や不規則
な食事の増加、「食」の安全
上の問題の発生、過度の痩身
志向、「食」を大切にする心
の欠如、「食」の海外への依

存 伝統ある食文化の喪失な
どさまざまです。

将来の地域を支える子ども
たちの「食」について、私た
ちも考えていきましょう。

参加しませんか
「元気が出る朝食づくり」

朝食は健康のもとです。欠
食すれば学校や職場で「元気
がない。ものごと集中でき
ない。」などの人が増え、問題
になります。朝食をしっかり
とつて、元気で良い一日を過
ごすため、簡単にできる朝食
をつくります。

日時 8月26日(日)
午前11時30分

場所 町公民館

内容 元気が出る朝食づ
くり

参加費 無料

対象 黒坂小学校の児童
と家族

主催 明るい食生活黒坂
グループ

共催 町公民館

問合せ 町公民館(電話74
0212)

町公民館図書室より

このたび、町図書館より図書を借り受
け、小説など約200冊を入れ替えしま
したので、手続きのうえご自由にご覧く
ださい

投稿募集

読者の皆さんの投稿をお待ちしていま
す。教育問題、生涯学習、子育て、環境問
題、スポーツに関すること、風物、趣味の
紹介など、なんでもかまいません。

字数 400字程度 形態 住所、氏
名、年齢、電話番号を明記のうえ、手紙ま
たはハガキでお送りください 送り先 〃
〒689 5131 日野町黒坂124
3 1 日野町公民館「公民館だより」係

黒坂社会体育館の松を せん定していただきました

6月24日、町盆栽研究会の4人の会員
の皆さんが、ボランティアで黒坂社会体
育館前の松のせん定をされ、すっきりと
きれいになりました。
ありがとうございました。



黒坂4区自治会から備品を寄贈

このたび、町公民館に黒坂4区自治会(住田寛自治
会長)から、所有されていた備品(座机、茶碗、汁
わん、皿、ガラスコップなど)を多く寄贈いただき
ました。ありがとうございました。

日野町地域防犯・ 生活安全パトロール協議会

【会員募集中】
現在、55人で活動しています。
会員になっていただける方は、
協議会事務局(町公民館74-0212)まで
ご連絡ください。



ロビー展のお知らせ

さつき・盆栽研究会作品展
7月27日(金)まで開催中

人権啓発パネル展
8月1日(水)~9日(木)

展示場所 町公民館ロビー
展示時間 午前8時30分~午後5時30分

ロビー展出展者募集
町公民館ではロビー展出展者を募集して
います。出展を希望される方は、町公民館
(電話74 0212)までご連絡ください。

隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1
 電話：72-1191 (FAX兼)
 E-mail: rinpokan@town.hino.tottori.jp



部落解放人権尊重標語 入選作品決定

今年も、部落解放人権尊重標語を募集したところ、各学校から、たくさんの方の応募がありました。
 6月25日に下榎集会所で選考委員会を開き、厳正な審査の結果、26点が入選作品として決定しました。

【入選作品】

黒坂小学校

「だいじょうぶ」っていわれたらうれしいよ
 (1年 西田一生)
 「ごめんね。」はけんかの後のおまじない
 (3年 久留馬夏海)

「ごめんね。」「いいよ。」
 につこりなかなよいい気分
 (3年 西村香歩)

思いやり 人の気持ちを大切に
 (4年 紅 美憂)

「ありがとう」は心と心をつなく糸
 (4年 西村匠平)
 人権の花 みんなで咲かそう
 あなたの心に
 (6年 長内綾乃)

根雨小学校

いつしよにあそぼうひとりだ
 とつまないからね
 (1年 高橋美華)
 ありがとうごめんさい
 言える心を大切に
 (2年 小川混生)

けんかしてもあやまって

心の中を明るくしよう
 (2年 堀田 恵)
 考えようよいことわるいこと
 とみんなの気持ち
 (3年 八加部千幸)

自由平等 生きる権利をいじめや差別はじやまして
 (5年 松本 希)
 人権は心をてらす
 太陽だ
 (6年 井原里奈)

手をつなぎ みんなで咲かそう
 笑顔の花
 (6年 西村安奈)
 友達は みんなの大事な宝物
 (6年 西村佳歎)

日野中学校

人権を守る未来を作る
 うよ。
 (1年 矢田貝春奈)
 「命」はね。一人一人の宝物
 (1年 白根美樹)

差別する あなたの心は傷だらけ
 (1年 富田麻璃亜)
 生まれた所や目の色で何がわかるというのだろう
 (2年 西村美香)

見てるだけそれだけでは
 じまらぬ
 (2年 西村賢人)
 かんがえよう 自分の行動

手の気持ち (2年 松原伸介)
 受け入れる そこからすべてが動きます。(3年 音田光一)

日野高等学校

見ないふりしてるあなた
 共犯者 (1年 小椋風花)
 気づこうよ あなたの言葉に
 ひそむ影 (1年 檀田成人)
 気付いてる？ あなたの言葉
 で泣いてるよ
 (2年 石田亜紀)

悲しいね ずさんだと壊れた社会 (3年 下垣賢太郎)
 すてきだよ 君の存在
 宝物 (3年 高森尚之)

木工講座

6月20日、木工講座を下榎隣保館で開きました。
 根雨の柴田三千明さんを講師に、第1回の今回は踏み台を作りました。

少々大きな人が乗っても、びくともしない頑丈な作品が出来上がり、参加者は、家でさっそく使えると喜んでいました。



リフォーム講座
 6月23日、リフォーム講座を、下榎集会所で開きました。

講師は、日南町の足羽鈴子さん。古着などを使って、マイバッグ(買い物袋)を作りました。簡単な袋作りから始めて、本格的なリフォームができるように計画したいと思います。



8月の学習講座予定

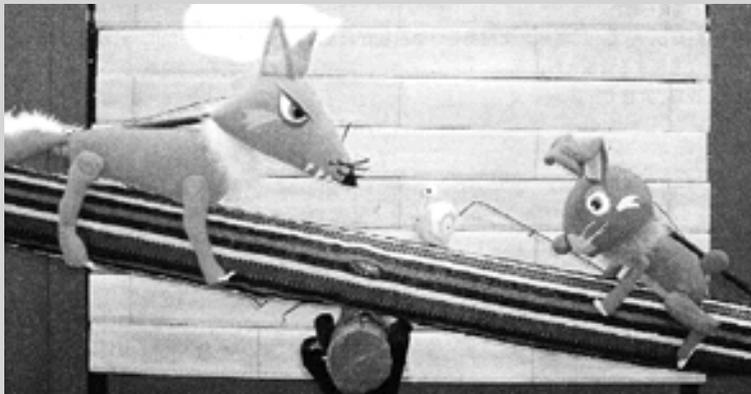
- 編み物 11日(土) 午後7時～
 老人憩の家(講師 安達利子さん)
- 生け花 21日(火) 午後7時30分～
 下榎集会所(講師 生田清子さん)
- 木工 19日ごろ(未定) 午前9時～
 下榎集会所(講師 柴田三千明さん)
- リフォーム 25日(土) 午後1時～
 下榎集会所(講師 足羽鈴子さん)

人形劇団クラルテ公演

おひさま劇場

8月21日(火)

朝の部 9:30開演(9:00開場)
会場 ひのっこ保育所
演目 「ゆらゆらばしのういで」
「どうしてぞうさんのはなはながいの？」



夜の部 19:00開演(18:30開場)
会場 町文化センター ホワイエ
演目 「だぶだぶ」「おどれタムタム」
料金 中学生以下600円、高校生以上800円(当日は200円増)
主催 親子でアートを楽しむ会「おひさま」
後援 日野町、日野町教育委員会、ひのっこ保育所、黒坂保育所
(平成19年アートスタート「次世代鑑賞者育成事業」)
問合せ 町文化センター(電話72-1300)

第6回町民ミュージカル

神々の詩

公演日: 12月16日(日)
昼・夜2回公演

日野の里を舞台にした、人間界と神々の世界を描いた作品です。現在、子どもから大人まで34人の出演者が練習に励んでいます。

町民ミュージカルを応援する100人の会 会員募集

町民ミュージカル実行委員会では、昨年度に引き続き、「応援する100人の会」の会員を募集しています。

会費 1口3,000円

特典 公演当日のチケットを1枚(昼・夜いずれか)を無料で確保 「みゅーじかる通信」などで、練習の成果などをお知らせ 公開レッスン、リハーサルの見学

申込み・問合せ 文化センター内 実行委員会(電話72-1300)

町歴史研修会公開講座

とき 8月24日(金)午前10時~午前11時30分
ところ 山村開発センター・研修室
テーマ 「三谷地区の歴史」「近藤家の思い出あれこれ」
講師 田淵武夫さん、遠藤基一さん

文化センター
だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinososyo@book.town.hino.tottori.jp

月~金 午前9時30分~午後6時
土・日 午前9時~午後5時

カレンダー

○印が休館日です

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

図書館の展示コーナー

浜田珠鳳さん

指画小品展

7月27日(水)~8月20日(水)
日野町出身の指画家、浜田珠鳳さんの作品を展示します。

夏休み調べ学習の本・
おすすめの本

8月16日(木)~30日(木)

木のおもちゃづくり

8月19日(日)10:00~

場所: 図書館車庫

組み木のパズルなどをつくり
ます(要材料費)

図書館おはなし会

8月18日(土)10:00~

場所: 図書館絵本コーナー

絵本、おはなし、わらべうたなど
13:30~、井沢博さんのシベリア抑
留体験の紙芝居を見る会を開きます。

サイエンスアカデミー講座

8月25日(土)10:30~

場所: 図書館資料コーナー

テーマ: 未定

おひさまひろば

だより



ひのっこ保育所子育て支援室「おひさまひろば」では、保育所に入所していない子どもたちを迎え、毎週水曜日の午前9時～午前11時まで、ボランティアの方の協力もあり、親子で楽しく遊んでいます。

おひさまひろばの時間設定は次のとおりです。

時間	内容
9:00～11:00	受付（随時受付けています）
9:00～	絵本読み、室内おもちゃ遊び（積木、ブロックなど）ふれあい遊び（わらべうたなど）
9:30～	一斉活動
10:00～	外遊び（雨天時：室内遊び）
10:40～	片付け・ティータイム（各自持参）
10:50～	支援室掃除、次回日程打ち合わせ
11:00～	あいさつ（終了）

青い空がまぶしい季節になりました。6月は雨も少なく、毎回外で遊具で遊んだり、砂場で水を使って遊びました。

新しく参加される親子も次々とあり、多いときは20人近い親子でにぎやかに遊んでいます。

きょうだいがおられても、ボランティアのご協力と一緒に世話したり、お手伝いもしますので、安心してお越しください。

8月は暑くなりますが、水遊びを中心に遊ばせたいと思います。帽子、着替え、飲み物を準備して遊びに来てくださいね。

連絡先 ひのっこ保育所 担当 音田
(電話 72 - 0238)

8月の予定

- 8月1日(水): 折り紙遊び
- 8月8日(水): 図書館からのおはなし会
- 8月22日(水): 水遊び(砂場)
- 8月29日(水): 水遊び(砂場)
- 8月15日(水)はお休みします。

こころの散歩道 日野町俳句同好会 選

朴^ほの花^{はな} 花^{はな} 山^{やま} 棲^{すま}み二十年 (講師) 谷 悦子
心^こ足^たる 女^に人^に 高^{たか}野^の 初^{はつ}夏^げの 旅 安^{やす}達^{たつ}つるゑ
描^えく 間^まに 萎^しれ^れて きた^きり 額^{ぬか}の 花 荒^あ木^き 習^し子
朝^あ露^るに ま^まみ^みれ^れて 走^はる 子^こ犬^{いぬ}か^な 梅^う林^{りん} 春^{はる}子
梅^う雨^るの 軸^し掛^かけ^て 客^{きやく}間^まの 整^とい^ぬ 勝^{かつ}瀬^せ 京^{きやう}子
子^こ育^{いく}ては 遠^{とほ}き^き日^ひの こと 粽^{ちまき}結^{むす}ぶ 川^{かわ}上^{の上} 文^{ぶん}子
村^{むら}薄^{うす}暑^{あつ}日^ひに 三^{さん}回^{かい}の バス 着^きけ^り 久^く城^{じやう} 霞^{かすみ}溪^ぎ
神^{かみ}楽^ら笛^{ふえ} 牙^がえ 新^{あたら}緑^{しよ}の 宿^{しゆく}場^{ばう}町 徳^{とく}本^{ほん}千^ち鶴^{つる}子
藍^{あい}暖^ぬ簾^{すだ}く^くぐ^りて 出^で入^いり 燕^{つば}の 巢^{のう} 真^ま壁^{かべ}富^{とみ}貴^き枝^え

(五十音順)

体験しませんか ベビーマッサージ

アロマオイルを使ってお子さんにマッサージをします。スキンシップでコミュニケーションでき、いやし効果もあります。

日時 8月7日(火) 受付：午後1時15分～午後1時30分
場所 山村開発センター
講師 山根美奈子さん(助産師)
対象 乳幼児
その他 アロマオイル代300円とタオル、バスタオル、母子健康手帳を持参ください。また、当日は乳幼児相談も行います。

申込み 7月31日(火)までに、下記担当までお申込ください。
担当 役場健康福祉課 保健師 生田直子 (電話 72 0334)

編集後記

「じげじまん」のコーナーで紹介した生田さん。昔の田植え唄の太鼓の拍子まで覚えておられる記憶力には本当に驚かされ、また、趣味の手芸を続けられていることにも感動しました。で、ちゃっかりかごとわらじをお土産にいただいちゃいました(笑) とても丈夫で重宝しています。ありがとうございました。(i)

おくやみ
ご冥福をお祈りします

(氏名) 6月届出分 今井 そと (年齢) 101歳 (住所) 黒坂
7月届出分 後藤 幸治 82歳 福長

赤ちゃん誕生
おめでとございます

(出生児) 6月届出分 山縣 和喜 正孝・玲子 男の子 久住

届出 6月11日～7月10日 敬称略

6月30日現在

わたしの町

(前月比)
人口 4,159人(-1)
男性 1,947人(-2)
女性 2,212人(-3)
世帯 1,560戸(-0)

8月 暮らしのカレンダー

AUGUST (葉月)



基本健康診査・肺がん・胃がん・大腸がん検診の受付時間
 胃がん・大腸がん検診 午前8時～午前9時
 基本健康診査・肺がん検診 午前8時30分～

1 水	不燃ごみの収集日 (全町)	17 金	第5回おしどり学園 町公民館 午前9時30分～
2 木		18 土	
3 金		19 日	
4 土		20 月	
5 日		21 火	隣保館生け花講座 下榎集会所 午後7時30分～
6 月	健康相談 町公民館 午前9時～午前10時 ----- 人権相談 開発センター 午後1時～午後3時	22 水	古紙の収集日 (全町)
7 火	法律相談 開発センター 午後1時～ 申込み: 町社会福祉協議会 (74-0338) 8月3日〆切 乳幼児相談・ベビーマッサージ 開発センター 受付: 午後1時15分～午後1時30分	23 木	不要犬・猫引取り日 日野保健所
8 水	基本健康診査・肺がん・胃がん・大腸がん検診 開発センター (受付時間はページ左をご覧ください) ----- 行政相談 町公民館 午前9時～正午 ----- 資源ごみの収集日 (全町)	24 金	
9 木	基本健康診査・肺がん・胃がん・大腸がん検診 開発センター (受付時間はページ左をご覧ください) ----- 不要犬・猫引取り日 日野保健所	25 土	隣保館リフォーム講座 下榎集会所 午後1時～
10 金		26 日	
11 土		27 月	
12 日		28 火	
13 月	ごみの収集は休みます (くぬぎの森への持込 は可能です。時間: 午前8時30分～午後4時)	29 水	発泡スチロール・乾電池の収集日 (全町)
14 火	ごみの収集は休みます (くぬぎの森への持込 は可能です。時間: 午前8時30分～午後4時)	30 木	成分献血
15 水	町成人式 町文化センター 午前9時00分～ ----- 黒坂納涼まつり 黒坂小学校グラウンド 午後6時～ ----- ごみの収集は休みます (くぬぎの森への持込 は可能です。時間: 午前8時30分～午後4時)	31 金	町県民税2期分、国民健康保険税2期分、 介護保険料2期分納期限
16 木			

ミニギャラリー情報

(町内の展示コーナーを紹介します)
 日野病院展示コーナー 『水彩画展』開催中
 7月27日(金)午後7時から、ロビーで七夕の夕涼
 み会を開きます。星の話やギター、オカリナのミニコ
 ンサートが行われます。
 日野総合事務所 『経営革新計画パネル展』8月上
 旬～31日
 山陰合同銀行根雨支店 『平野流ちぎり絵生徒作品
 展』8月6日～31日
 蔵美術館 『松田泰彦さん油絵展』8月1日～31日
 県西部地震展示交流センター 『能登半島地震と支
 援活動』8月1日～29日

直 通 電 話	総務企画課	72 0331	住民課	72 0333	出納室	72 2105	健康福祉課	72 0334
	産業振興課	72 2101	黒坂支所	74 0211	公民館	74 0212	議会事務局	72 0335
	農業委員会	72 2103	教育委員会	72 2107	文化センター	72 1300	給食センター	72 1167
	地域包括支援センター	72 1852	ひのっこ保育所	72 0238	黒坂保育所	74 0225	下榎集会所	72 1191
	役場代表番号 (夜間・休日) 72 0331							

町長の定期便

第16回

地域をあげて防犯の取り組みを

今年の梅雨は、当初雨が少なく、下流においては水不足となり、空梅雨を思わせましたが、中盤に入り雨量も回復、梅雨らしくなってきました。これから恐ろしいのは、末期の集中豪雨です。昨年のようなこともあり得るので、そのときは早めの避難を心がけていただくようお願いいたします。

さて、6月22日に舟場自治会防災部に対して防犯用品の授与式が行われました。これは、警察庁が行う「地域安全安心ステーション」モデル事業で、全国100地区の内に選ばれたものです。

当日は、高力黒坂警察署長から松田自治会長、稲田部長に280点の防犯用品が引き渡され、私もこれに立ち合わせていただきました。

日ごろから舟場自治会では子どもの安全を見守る活動や、町地域防犯・生活安全パトロール協議会と連携し、地区内の見回りを実施されています。

「自分たちの地区の安全は自分たちで守るんだ」との強い気持ちで2月に組織を結成し、警察との協力関係をより強いものとされたことを高く評価しているところです。

これからは着実に成果を上げられて、他の自治会にもこれらの取り組みが広がっていく、日野町全体で犯罪のない安心で安全に暮らせるまちづくりを目指していこうではありませんか。(7月6日記)

日野町長 景山 享弘

町食生活改善推進協議会員さん料理④1 オススメ料理

盛り合わせてかけるだけの簡単サラダ。
熱したごま油の香りがポイント



たことレタスのごま風味サラダ

【材料】4人分

- ゆでだこ (200g)
- ブリーツレタス (1/2 株)
- パプリカ (赤、黄それぞれ 1/4 個)
- かいわれ大根 (少々)
- ポン酢しょうゆ (大さじ4)
- ごま油 (大さじ4)

【作り方】

- ①レタスは食べやすい大きさにちぎり皿に敷く。
- ②ゆでだこは薄切りに、パプリカは細切りにする。

①に、②とかいわれ大根を盛り合わせ、ポン酢しょうゆを振りかける。

フライパンにごま油を白い煙が立つほどに熱し、食べる直前に③に回しかける。



『私たち、4月生まれのおつ子ちゃん』
撮影 高力弘さん(黒坂)

【連絡先】 オンドリグループ事務局
森田(電話)72 0271

続・マガモのヒナ
カワコ公園のマガモのヒナ、誕生して3か月になります。現在は親と同じくらい大きさを40羽。人が近くに寄ってもあまり恐れませんが、警戒心の強いオシドリからは想像できないことです。マガモの習性と地域の人々の優しさが功を奏したのでしよう。そばで見ているだけで心がいやされます。鳥たちが安心して住めるまちは私たちにとってもいいはず。いつまでも良い関係でいたいものです。

オシドリ

Vol. 113

